

第11回デジタル田園都市国家構想実現会議

委員名:野田 由美子

デジタル田園都市国家構想総合戦略(案)について、以下コメントさせていただきます。

1. 広域での自治体連携の促進

本総合戦略は、デジタルを利用して地方創生の取組を一層前進させようとするものであるが、真の地方創生には、地方において持続可能かつ魅力的な仕事が創造されることが不可欠であり、そのためには、広域の自治体間の連携による価値創出が有効と考える。第10回会議でもコメントさせて頂いたが(提出資料)、デジタルの活用を通じて自治体が広域で連携し、当該エリアの強みや魅力・課題を起点にして、人と企業を内外から呼び込み、エコシステムを構築し、地域自律型の社会・経済をつくることが肝要である。

説明資料のP.38「分野横断的な地域間連携の取組」に、地域の関係者がデジタルを活用して自らデザインする「地域生活圏」の推進について記載があるが、このような広域での自治体の連携を積極的に支援し、さらにスケール感ある連携の創出を後押しする仕組みの整備について、引き続きご検討いただきたい。

2. 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の意義をまとめた要約版の公表

本総合戦略の意義ならびに従前の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との違いを的確に伝えるために、本戦略を貫く哲学や基本的考え方、狙い、施策のポイント等を、要約した形で公表されることも一案ではないかと考える。

以上